



腕、姿勢、表情：小柄でも大きな存在感を。

チーム最年少の実力者、磨き続けた技術で全国へ。

【写真提供：フォトチョイス】

次世代 HERO

Next Generation's Hero

第53回バトントワリング全国大会
一般部門 U-12 優勝

文関小学校 6年
高田 紗渚 さん(上)

長府小学校 4年
本間 文乃 さん(下)

バトントワリング
バトンを回転させるという意味を持ち、バトンの操作と身体の動きを音楽に合わせて組み合わせる、芸術性の高いスポーツ。



北 九州市を拠点に活動するタカコバトントワリングDancing Clubジュニアの高田紗渚さんと本間文乃さんが、全国大会で見事な演技を披露し、初出場ながら団体戦優勝(3連覇)を果たしました。

音楽や衣装、振り付け。細部にまでこだわり抜いた演技で、観客をまるでNETFLIXの人気ドラマ「ウェンズデー」の世界へと引き込むような、圧巻のステージを展開し、会場を魅了しました。

「本番直前はとても緊張した」と振り返る高田さん。新メンバーが半数で、自分の演技が結果を左右するという重圧を感じていたそう。それでもバトンを落さず、堂々と演技をやり遂げました。本間さんは「全国大会を楽しめた」と幕張メッセでの思い出を笑顔で振り返ります。指導する宮之原孝子先生は「高田さんはチームの軸に。本間さんは全国大会個人戦でも活躍してほしい」と今後の2人の躍進に期待を寄せます。



▲新しい技ができた瞬間と、みんなと一緒に演技ができることが楽しい。



下関市ゆかりの会の様子

下関市外にいる 下関の応援団 (前編)



市長コラム 希望の風 市長の部屋

皆さんこんにちは！ 前田晋太郎です。全国には、たくさんの方の下関の応援団がいます。それは、市外で暮らしながらも、ふるさとを思ってくれている人。そして、転勤や就学のために一度は下関に住んだ経験がある人。さまざまの方が、最近の下関の動きに注目をしてくれています。皆さんは「下関市ゆかりの会」をご存じですか？ 下関市ゆかりの会は、東京など関東圏を中心に、ふるさとに思いを寄せる皆さんが集まり、情報を共有し交流を深める特別な場です。記録によると、昭和62年から会の前身となる交流会が行われており、平成13年に、下関出身の中央官庁の職員や企業の代表など、下関に「ゆかり」のある方々が集まって、「下関市ゆかりの会」として新たな一歩を踏み出しました。それ以来、郷土下関の発展のために、多方面から支援や助言を頂いています。

私は毎年の総会に必ず出席し、会の皆さんと語り合っています。私たちが今の状況を報告しています。今年のその会でも話題になった、ふるさと納税について…。突然ですが、ここでクイズです！ 返礼品の一番人気はご存じ「ふく」ですが、2位は何だと思えますか？

- ① アンコウや鯨などの魚介類
- ② 餃子・豚まんなどの加工品
- ③ 新規参入のプロテイン

(5月号に続く…)